

2020年 1月29日
東京電力ホールディングス株式会社
福島復興本社

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況	1	～	3
○ 除染等推進活動状況	4	～	5
○ 復興推進活動状況	6	～	7
○ 流通促進活動状況	8		

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

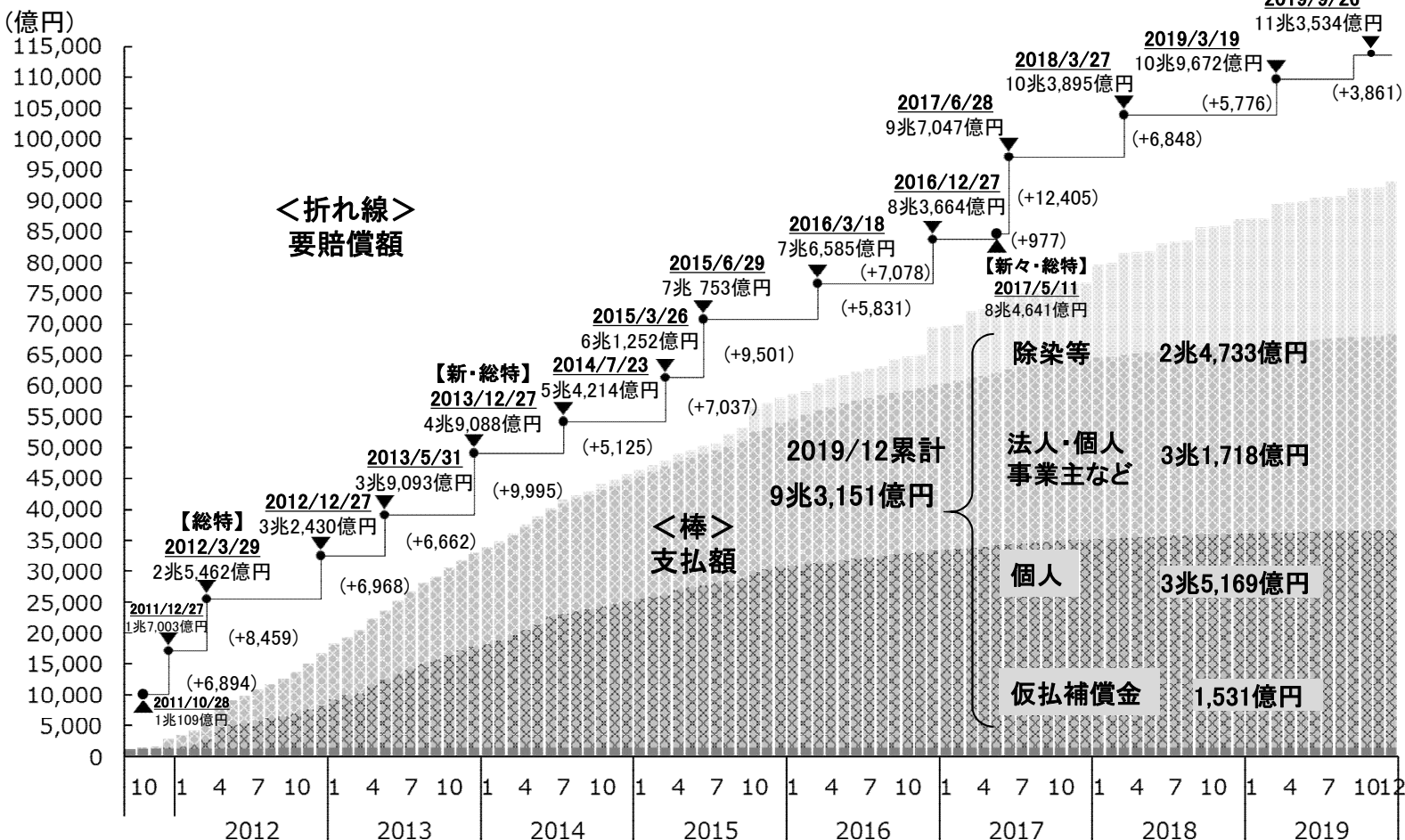
2019年12月31日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,418,000件	約505,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,285,000件	約435,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆5,169億円	約5兆6,452億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約9兆1,621億円 ①
仮払補償金		約1,531億円 ②
お支払い総額		約9兆3,151億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

<賠償支払額及び要賠償額の推移>



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (9/26資金援助額変更申請)	合意いただいた実績 ^{※1} (2019年12月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,698億円	19,899億円
検査費用等	3,422億円	2,748億円
精神的損害	10,960億円	10,859億円
自主的避難等	3,625億円	3,625億円
就労不能損害	2,689億円	2,665億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	30,802億円	29,840億円
営業損害	5,362億円	5,266億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	18,306億円	18,080億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,199億円	2,509億円
間接損害等その他	3,933億円	3,984億円
III. 共通・その他	21,811億円	18,662億円
財物価値の喪失又は減少等	15,134億円	14,058億円
住居確保損害	6,427億円	4,353億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等^{※2}	40,221億円	24,733億円
合計	113,534億円	93,136億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 82%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月：個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害 等	9月：法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等
2012年	2月：自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月：建物の修復費用等に係る賠償	2月：自動車に対する賠償 12月：償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月：田畑に係る賠償	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月：田畑に係る賠償
2014年	1月：精神的損害（要介護者さま等への増額）に係る賠償 3月：移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月：住居確保に係る費用の賠償 7月：墓石等の修理に係る賠償 9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月：家財の個別賠償 3月：福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月：墓石等の移転に係る賠償 6月：避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月：避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月：新たな営業損害賠償等
2016年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	12月：農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	12月：平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月：移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月：2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月：2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し 9月：消費税率引上げにともなう住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

2019年1月17日現在

申立件数		25,581件
解決件数		24,669件
	全部和解件数	19,796件
	取下げ件数	2,744件
	打切り件数	2,127件
	却下	1件
	和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数		912件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは25,469件（12月31日現在）

※当社に送達された件数は月平均で約106件（2019年度）

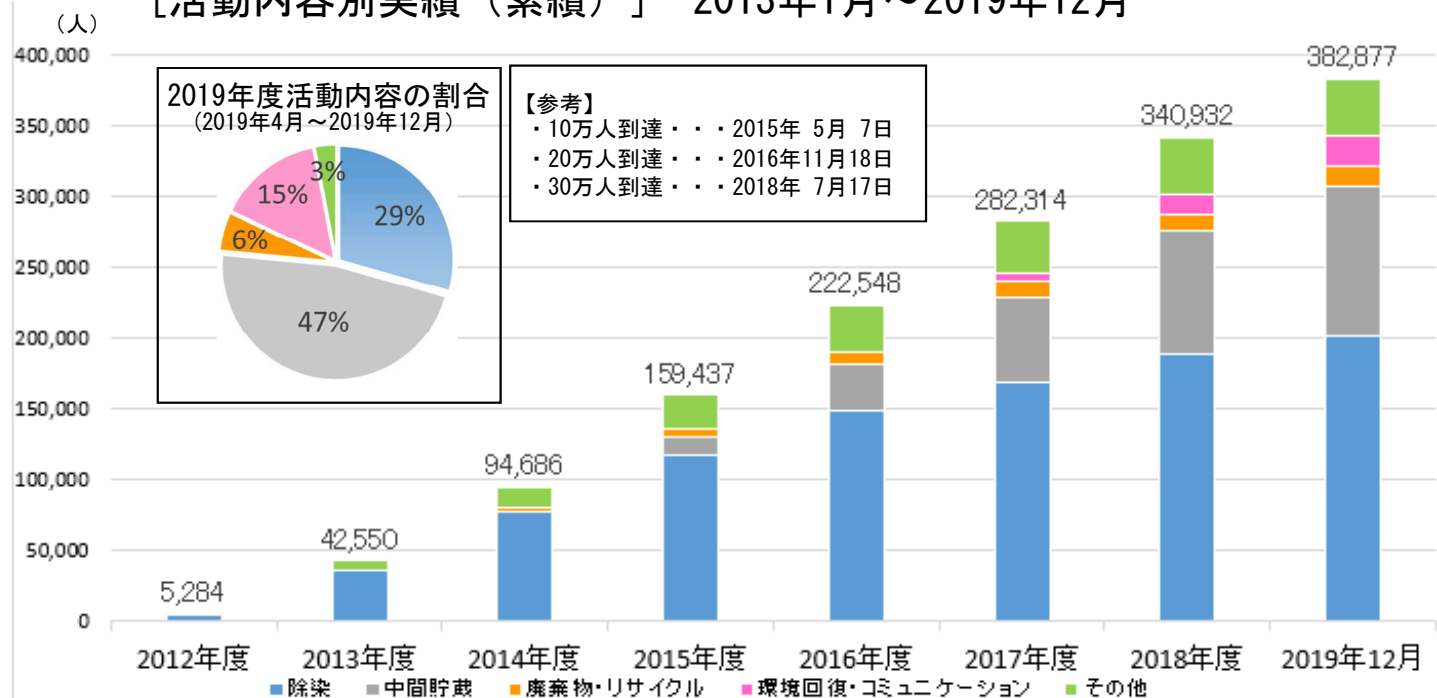
※現在進行中の件数のうち、17件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,236億円

12月の活動実績

除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				
1,375人 (30%)	2,100人 (45%)	299人 (6%)	701人 (15%)	181人 (4%)
12月の活動実績合計				4,656人
復興本社設立（2013年1月）からの累計				382,877人

〔活動内容別実績（累積）〕 2013年1月～2019年12月



至近の主な取り組み



特定復興再生拠点区域における除染への協力

特定復興再生拠点区域における除染への協力

実施時期 2017年12月～ ※ 継続実施中

実施場所 双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯館村、葛尾村

実施人数 社員 延べ6,220人（2019年12月末現在）

実施内容 環境省からの要請により、特定復興再生拠点区域の除染作業において技術的協力を実施

- ① 除染前後の線量調査・汚染状況確認
除染前・後にシンチレーション式サーベイメータを使用し、地表から1m高さの空間線量率を測定
- ② 除染工法検討の技術支援
除染前の線量調査結果による除染工法検討の技術支援

各地域の実施内容



【飯館村】

宅地除染前の線量調査



【浪江町】

宅地除染後の線量調査



【葛尾村】

宅地除染後の線量調査



【双葉町】

町道除染後の線量調査



【大熊町】

町道除染後の線量調査



【富岡町】

宅地除染後の線量調査

出典：環境省HP



シンチレーション式サーベイメータ

12月の活動実績

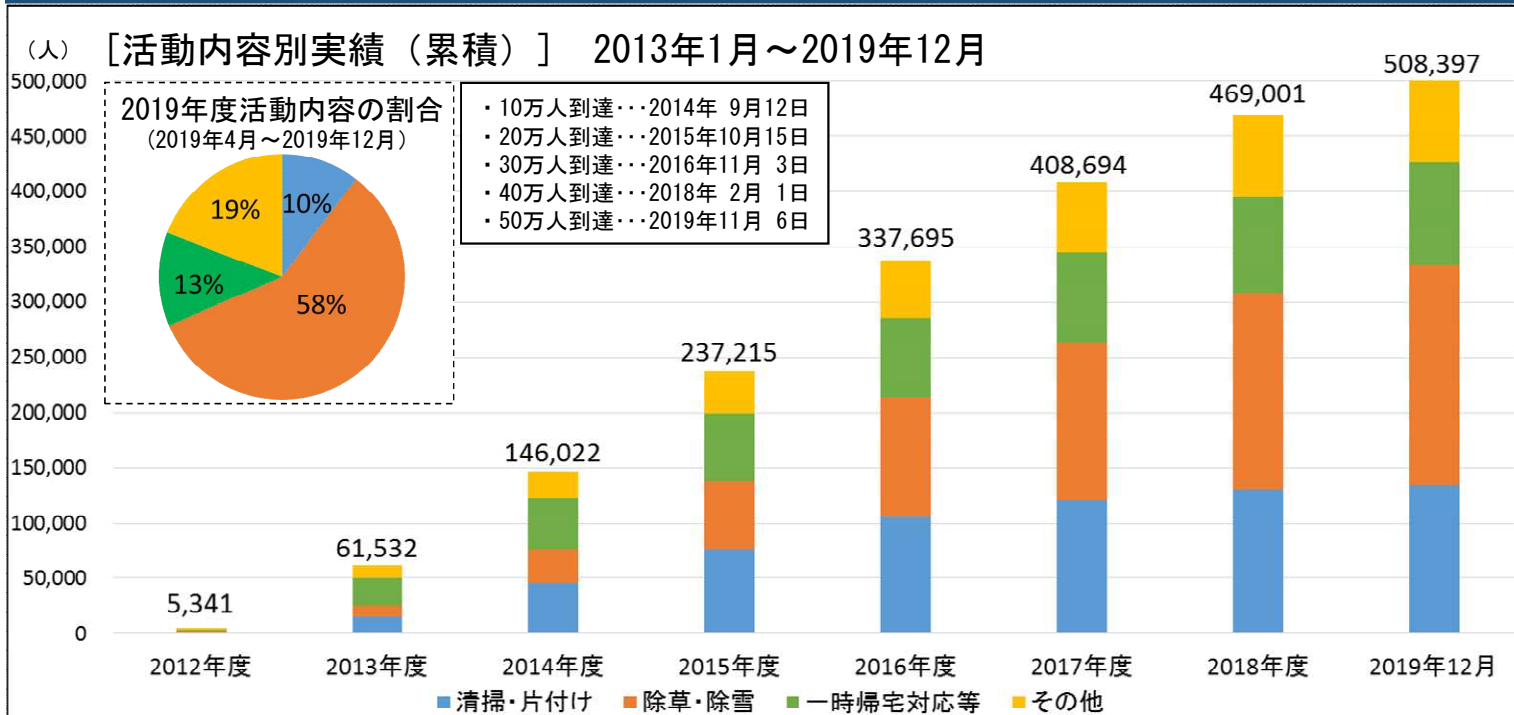
清掃・片付け (屋内清掃・大型家財搬出等)	除草・除雪 (住宅進入路・公共施設等)	一時帰宅対応等	その他 (イベント運営補助等)
			
244人 (7%)	2,476人 (67%)	503人 (13%)	493人 (13%)

12月の活動実績合計

3,716人

復興本社設立（2013年1月）からの累計

508,397人



至近の主な取り組み



各地域の新年イベントへの協力

各地域の新年イベントへの協力

実施時期 2020年1月1日～1月19日

実施場所 浪江町、楢葉町、※双葉町、大熊町、飯館村

※いわき市開催（復興公営住宅勿来酒井団地）

実施人数 社員 延べ 92人 下記（ ）は各イベントの協力人数

実施内容

【1月1日 浪江町：あるけあるけ初日詣大会】（5人）

- ・ 浪江町からのご依頼により、出発地点の「まち・なみ・まるしえ」で参加者へ反射板（光を反射するたすき）やカイロ等を配布
- ・ 浪江町役場の方々と一緒に、歩行ルートでのコース誘導等に協力

【1月11日 楢葉町：笑ふるタウンならは新春イベント2020】（2人）

- ・ 「一般社団法人ならはみらい」からのご依頼により、「新春餅つき体験会」で町民の方々の餅つきのお手伝いや会場準備・片付けに協力

【1月10日～12日 双葉町：双葉町ダルマ市】（65人）

- ・ 双葉町からのご依頼により、イベント前日に会場設営や駐車場整備を実施
- ・ イベント当日は会場準備や駐車場誘導に加え、復興推進活動・廃炉の状況等をお知らせするブースを出展
- ・ 避難先からバスで来場される皆さまのご案内や会場の片付けに協力

【1月13日 大熊町：里がえりもちつき大会】（10人）

- ・ 「おおくまコミュニティづくり実行委員会」の一員として企画に参画し、イベント当日は駐車場誘導に協力
- ・ 福島第一原子力発電所の職員約60人が町民の皆さまと一緒に餅つきに参加

【1月19日 飯館村：いいたて新春村民のつどい】（10人）

- ・ 飯館村からのご依頼により、駐車場誘導およびイベント会場の片付けに協力



あるけあるけ初日詣大会
[2020年1月1日撮影]



笑ふるタウンならは新春イベント2020
[2020年1月11日撮影]



双葉町ダルマ市
[2020年1月11日撮影]



里がえりもちつき大会
[2020年1月13日撮影]

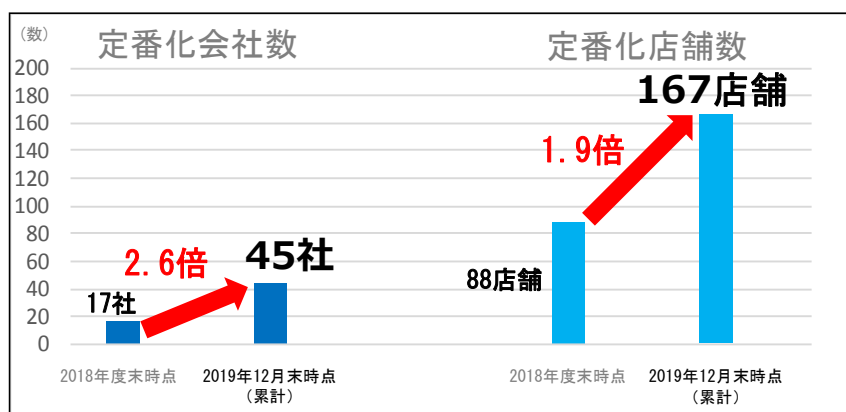


いいたて新春村民のつどい
[2020年1月19日撮影]

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

【福島県産品の定番化の実績】

- 小売店・飲食店でのイベントを通じて、多くの消費者の皆さまに福島県産品を購入および味わっていただくことにより、常設棚での福島県産品の取り扱い店舗の拡大や福島県産品を使用したメニューの定番化を推進
- 「発見！ふくしま」キャンペーン(2019年10月11日～12月20日)を終え、2019年12月末時点で福島県産品を定番化いただいた小売店・飲食店の会社数は45社（前年度末の2.6倍）店舗数は167店舗（同1.9倍）に拡大
- 鉄板焼 摩天楼様 東京スカイツリー・ソラマチ店で提供いただいたランチメニュー「福島牛サーロインステーキコース」(5,000円)がフェア期間中に約700食もの販売を記録



福島牛サーロインステーキコース(ランチ) 5,000円(税別)



鉄板焼 摩天楼様 東京スカイツリー・ソラマチ店での提供メニュー

【定番化店舗における福島県産品の利用拡大】

- 福島牛メニューが定番化されているRRR OTEMACHI KOBEBEEF& WINE様では、福島牛のカツレツに添えて提供するライスについて「天のつぶ」の採用が決定(2019年10月より提供開始)
- 食前酒として、福島県産桃のシャンパンカクテルも合わせて2019年10月より提供開始
- 定番化された店舗においても、さらに多くの福島県産品を取り扱いいただけるよう取り組みを継続



福島牛のカツレツ 天のつぶ添え



福島県産桃のシャンパンカクテル

RRR OTEMACHI KOBEBEEF&WINE様での提供メニュー

【首都圏における福島県産品の試食販売会の開催】

- キャンペーン終了後も継続して首都圏の百貨店やスーパーなどで、福島県産品の試食販売会を開催

開催場所		開催日	開催内容
東武百貨店様	池袋店	1月17日(金)・18日(土)	お米
	船橋店	1月25日(土)・26日(日)	
パルコ様 調布店		1月18日(土)・19日(日)	お米、福島牛
東急百貨店様 日吉東急アベニュー		1月23日(木)・24日(金)	お米



東武百貨店様 池袋店での福島県産米試食販売会の様子

＜今後の予定＞

- 首都圏で店舗を展開するクイーンズ伊勢丹様14店舗において、福島県産のお米や福島牛などの取り扱いを中心とした「東北うまいもの市」を開催予定(2020年2月20日(木)～24日(月・祝))